

速報

新型培養器

エンブリオスコープ™ 導入

産婦人科
不妊センター

エンブリオスコープ™ (Embryo Scope™) とは

培養器の中に設置されたカメラにより培養中の受精卵(胚)をコマ撮りで撮影し、動画として解析することができるタイムラプスという最新技術を搭載した培養器です。



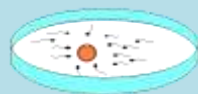
培養器(卵管の環境に近い)

採卵(0日目)

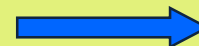
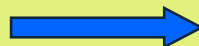
受精確認(1日目)

培養(2日目)

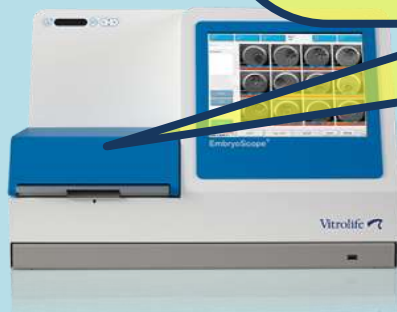
培養(3日目)
胚移植



受精



培養器内で写真を連続撮影・評価



培養器



顕微鏡



従来は、1日から2日に1回 培養器から取り出して観察・評価

エンブリオスコープ™の特長

胚にやさしい
培養環境

胚を外に出さないためストレス軽減が期待でき、良好な胚発育環境を実現 ⇒ 妊娠率向上の期待

正確な
受精診断

タイムラプス撮影により、受精の過程を詳しく分析・診断できる ⇒ 正確な受精診断が可能

発育状態を
詳しく分析

タイムラプス撮影により、胚発育のスピードおよび分割パターンを経時的に追って分析 ⇒ 良好な胚を選ぶことが可能